

～ 地域連携×人財育成で、ローカルプライドの醸成へ～ ソラシドエア新入社員 50 名が「ソラシドファーム枕崎」にて オリジナル焼酎用サツマイモの苗約 5,000 本を植え付け



株式会社ソラシドエア(本社: 宮崎県宮崎市 代表取締役社長: 高橋 宏輔)は、2025年4月9日(水)・10日(木)、2024 年 6 月に薩摩酒造株式会社、一般社団法人地域商社推進機構、枕崎市と締結した「地域価値向上に関する包括連携協定」の活動の一環として、鹿児島県枕崎市に開墾した「ソラシドファーム枕崎」にて、焼酎づくりに使用するサツマイモの苗の植え付け作業を実施しました。

➤ 参考) 包括連携協定締結のプレスリリース:

<https://www.solaseedair.jp/corporate/pdf/press20240610.pdf>

当日はソラシドエアの新入社員 50 名も参加し、地元の方々と協力しながら丁寧に苗を植えました。社員一人一人が地域とのつながりを大切にし、地元を誇りに思う「ローカルプライド」の醸成を目指した試みであり、「ソラシドファーム枕崎」での実施は今回が初めてとなります。



《参加した新入社員のコメント》

「研修で4者協定事業の背景や目的を学び、理解したうえで、このプロジェクトの一翼を担うことに喜びを感じています。ソラシドエアと地域の方が誇りをもって地元価値共創活動を行っているので、今後はそのことを意識しながら日頃の業務に励んでいきたいと思います。」

「枕崎市を今回初めて訪れて、魅力あふれる町だと感じました。客室乗務員として観光地だけではなく、地域のヒトやモノのパワーも含めてお客さまに知っていただきたいと思います。」



《今後の予定》

ソラシドエアをはじめ連携4者は本取り組みを通じて、地域農業と航空会社の連携による新しい価値創出を進めていきます。

今後のスケジュールは以下を予定しています。

2025年10月頃 サツマイモの収穫およびオリジナル焼酎製造開始

2026年5月頃 完成焼酎のお披露目・販売開始



ソラシドエアは、本社を宮崎県宮崎市に構え「九州・沖縄の翼」として、おもに羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を展開し、毎日14路線80便を運航しています。機材はボーイング737-800型機を揃え(14機保有)、平均81cmのゆとりある座席間隔(一部機材を除く)など快適な機内環境を提供しています。

ブランドプロミス“空から笑顔の種をまく。”の下、安全安心で快適な空の旅の提供に努めています。また、九州・沖縄のヒト・コト・モノをつなぐ地域振興プロジェクト「“九州・沖縄プロモーター”つながりは無限大」などに取り組んでいます。

➤ ソラシドエア ホームページ: <https://www.solaseedair.jp/>

